



- 1 お薬を持参する場合は、必ず玄関で保育士に手渡ししていただきますようお願いいたします。また、薬の連絡票の記入も必ずお願いいたします。
- 2 嘔吐や下痢などの症状で病院を受診された場合は、速やかに園まで連絡をお願いいたします。感染性の疾患の場合、園医の先生、役場福祉課、県央保健所への報告が必要とすることがあります。
- 3 ご兄弟の中で感染性の疾患の診断を受けた際は、体調に変化がなくても登園を控え、ご自宅で様子を観察していただきたいです。特に感染性胃腸炎は、熱の有無にかかわらず、嘔吐、下痢により蔓延する可能性が高いためです。保育園は、0歳～5歳までの幅広い年齢層が集団で生活している場所です。ご理解とご協力をお願いいたします。



社会福祉法人 栗石保育園 保健室
2021

最高気温が 30℃を超える日が続いたかなと思うと急に肌寒さを感じたりと衣服の調節が難しい日がありますね。お盆を過ぎると気温の変化が見られます。お着替えのかばんの中には、暑くても肌寒くても調節できるよう準備をお願いします。また、夏の疲れが出やすい時です。熱の有無にかかわらず、食欲がない、機嫌が悪い、嘔吐・下痢が1回でもあるなど体調に変化があるときはゆっくり体を休めるようにしましょう。

コロナウイルス感染症に関するお願い

新型コロナウイルス感染症が県内でも多く確認されるようになり、県独自ではありますが、「緊急事態宣言」が出されております。発熱などの症状があると「PCR」検査をするということが平行して行われているようです。以前にもお手紙で何度かお知らせしていましたが、**家族の中で「PCR」検査を受けられることになった場合、速やかに園までご連絡をいただき、お迎えをお願いします。検査結果が出るまでは、園児さんも自宅待機をとなります。**検査結果がわかり次第園まで連絡をお願いいたします。陰性が確認されれば、登園は可能です。「PCR」検査を受けた場合、園から役場子育て支援課に状況の報告をすることになっています。看護師の方から報告書作成にあたり確認の電話を入れることがあります。ご理解とご協力をお願いいたします。現在流行しているコロナウイルスが子どもたちに感染するリスクを少しでも避けられるように重ねてお願いいたします。

こんなときどうする？ 子どもの訴える



下痢をしている

こんなときは病院へ

次のような症状が見られる場合は、便の状態、回数を確認し、病院を受診しましょう。

- ・ 水溶性の便が頻繁に出る。
- ・ 機嫌が悪い
- ・ 下痢が1週間以上も続いている。
- ・ おう吐、発熱が見られる。
- ・ 便に血やうみが混じる。



家庭での手当て

- ・ 水分補給を

下痢のときは水分補給に気をつけ、脱水症状を防ぎます。湯冷ましや番茶、イオン水などを**常温で**飲ませるようにしましょう。

- ・ おしりを清潔に

下痢でトイレの回数が多くなるとただれたりして痛がります。乳幼児の場合は、オムツをこまめにチェックしましょう。**暖かいタオルなどでやさしく拭いてあげるとよいでしょう。また、おしりの赤みがひどくなるようでしたら小児科、皮膚科に相談し、必要であれば皮膚保護剤等を使用しましょう。**

- * **赤ちゃんの下痢は症状が改善するまでに時間がかかることがあります。主治医の先生と相談しながら離乳食を勧めるようにしましょう。**
- * **登園の基準は、便の状態がいつもの便の状態に近いこと、食欲がいつもどおりであることです。**
- * **熱がなくても食欲がない、顔色が悪いときは登園せず、自宅で様子を見ることをお勧めします。**
- * **保育園で2回以上下痢が見られた場合、胃腸炎の感染予防対策としてお家の方に連絡を入れさせていただきます。**